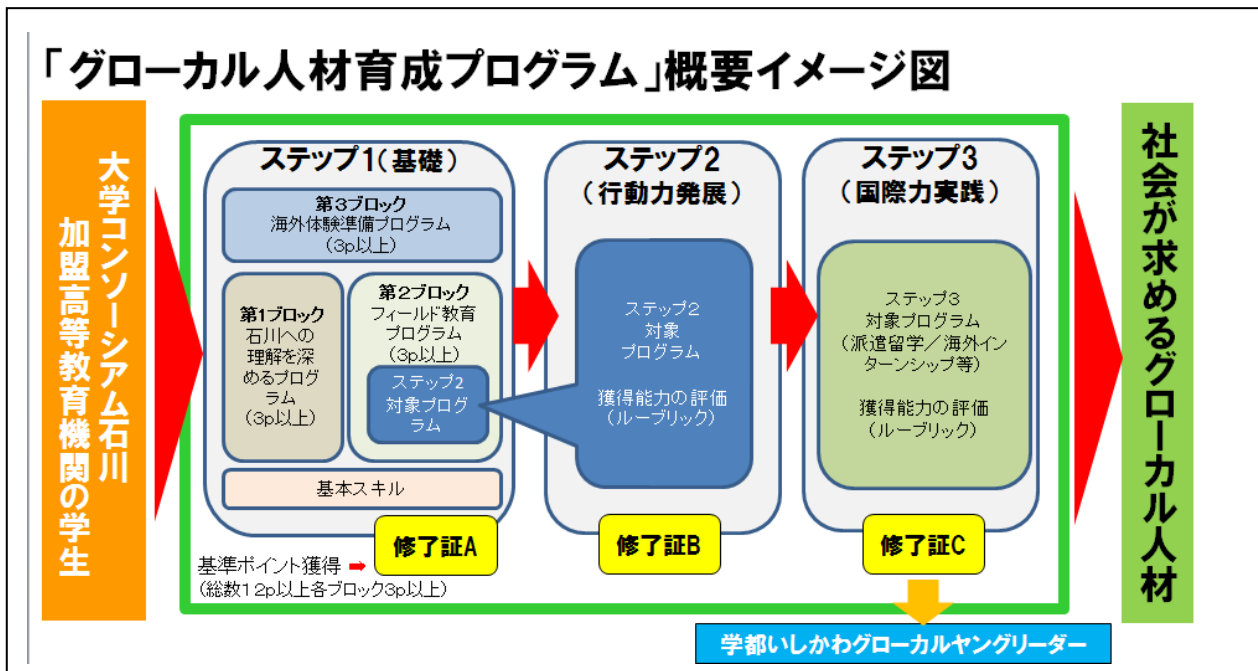


「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」

平成 26 年度より、大学コンソーシアム石川（以下、「UCI」と略称）では、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」（以下、「大学間連携」と略称）選定取組「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」（代表校：金沢大学）の一環として、「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」をスタートさせます。

「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」は、現在、社会で求められている「課題解決型グローバル人材」として必要な能力を身に付けるための教育プログラムです。一定のレベルに達するごとに修了証を出し、その能力を証明します。修了証は、就職活動の際、獲得した資格の一つとして履歴書等を書くことができます。



概要と基本ルール：

- ◎本プログラムは、地球規模の視野を持ちながら地域課題に主体的に取り組み解決できる人材（課題解決型グローバル人材）を育成するための、UCI とその加盟高等教育機関等が実施する科目や各種教育プログラムを組み合わせた高等教育機関横断の大型教育プログラムです。
- ◎本プログラムでは、「課題解決型グローバル人材」が獲得すべき能力として「発見力」「分析力」「展開力」「行動力」「国際力」の5つの力を養成します。5つの力の詳細とそのレベルは、ルーブリック（後述）によって明示されています。
- ◎本プログラムは「基礎」「行動力発展」「国際力実践」の3ステップで構成し、各段階を修了するごとに、UCI より「修了証」を発行します。修了は、年2回、学生からの「修了証申請」を受けて判定します。最終目標であるステップ3を修了した学生には「学都いしかわグローバルヤングリーダー」の称号を授与します。
- ◎本プログラムには、UCI 加盟高等教育機関の学生（非正規生を含む）ならば誰でも参加することができます。プログラムへの参加はどの時点からでも可能（登録期間は年2回）で、「修了証申請」時の登録もできます。
- ◎本プログラムのスタンダードリストは、UCI で開講されるシティカレッジ科目（機関開講科目を含む）・講座・教育プログラム、及び UCI 加盟高等教育機関・団体が個別に実施する教育プログラムで構成されます。プログラムの目的は5つの能力の獲得とその証明にあり、この能力の獲得は各高等教育機関の授業や教育プログラムでも目指されているところです。したがって、スタンダードリストに掲載されていない各高等教育機関の科目・個別プログラムでも、各ステップ・各ブロックの趣旨に合致するものであれば、該当科目・講座・個別プログラムとみなします。趣旨に合致しているかどうかの判定は、「修了証申請」の際に、提出された書類によって行います。（趣旨に合致していることが確認できた科目・講座・個別プログラムは、UCI 及び本「大学間連携」選定取組のHPで公開します。）

◎本プログラムは、単位を得ることができる科目と単位に関係ない講座・個別プログラムの両種で構成されるため、各科目・講座・個別プログラムには、時間数に応じたポイントを付与します。**ポイントは10時間1ポイントです。(10時間未満は0ポイント、10時間以上の場合は5時間ごとに0.5ポイントずつ追加できることとします。)**各高等教育機関で通常行われている1学期15回(1回90~100分)の科目は3ポイントとみなし、フィールドワークなどの場合は実稼働1日半で1ポイントとみなします。単位取得及び講座・個別プログラム主催者発行の証明書の獲得によってポイントが獲得できます。なお、1つの科目・講座・プログラムで付与できるポイントは最大6までとします。

ステップ1：修了証A(学都いしかわグローバル人材育成プログラム ステップ1修了証)

- ・修了証Aは、**地域社会でグローバルな人材として活躍するうえで必要な基本的な素養(発見力・分析力・展開力・行動力・国際力の5つの能力の基礎レベル)**が獲得できていることを証明するものです。
- ・ステップ1は、「**基本スキル**」と「**石川への理解を深めるプログラム**」(第1ブロック)、「**フィールド教育プログラム**」(第2ブロック)、「**海外体験準備プログラム**」(第3ブロック)の3ブロックで構成されます。
- ・修了要件は、
 - ①**基準ポイント(総数12ポイント、第1・2・3ブロックから各3ポイント)の獲得**
 - ②**UCIで開講される科目・講座・個別プログラムからの1ポイント以上の獲得**

ステップ2：修了証B(学都いしかわグローバル人材育成プログラム ステップ2修了証)

- ・修了証Bは、**地域社会でグローバルな人材として活躍するうえで必要な能力、とりわけ重要な「行動力」**が獲得できていることを証明するものです。
- ・修了証Bは、修了証A獲得を前提に、**第2ブロック(フィールド教育プログラム)内のステップ2対象科目・講座・個別プログラムに参加し、そこで一定レベルの能力を獲得したと認定できる者**に対して発行します。
- ・ステップ2の対象となる第2ブロック内の科目・講座・個別プログラムの**原則は、実際に地域に入って実習を行い、最後に成果報告をプレゼンする、3ポイント以上の科目・講座・個別プログラム、であること**です。**なお、同様の質を持っているが時間数が足りないものは、2つ以上に参加することでステップ2対象として扱います。(たとえば、1.5ポイントのプログラムを2つ受講すれば3ポイント扱いとします。)**
- ・能力の獲得は、ルーブリックによる達成度評価(後述)で行います。修了証獲得の条件は、ルーブリックによる達成度評価の全体平均・レベル2.5以上、行動力平均・レベル3.0以上です。
- ・修了証Bの申請は修了証Aの申請と同時にを行うことができます。

ステップ3：修了証C(学都いしかわグローバル人材育成プログラム ステップ3修了証)

＝「学都いしかわグローバルヤングリーダー」の称号授与

- ・修了証Cは、**国際社会でグローバル人材として活躍するうえで必要な能力が獲得できていることを証明する**ものです。
- ・修了証Cは、修了証A・B獲得を前提に、**ステップ3対象の科目・個別プログラムに参加して3ポイント以上を獲得し、かつ、そこで一定以上の能力を獲得したと認定できる者**に対して発行します。なお、ステップ3の科目・個別プログラムのなかに、海外での実習と報告会が含まれる場合は、ステップ2に該当する科目・個別プログラムの履修・受講がなくても、修了証Cを発行します。(修了証Bも同時発行します。)
- ・ステップ3の対象となる科目・個別プログラムの基準は、海外での実習・社会体験等を含み、帰国後に報告会が行われる科目・個別プログラムとします。単なる語学研修は対象になりません。(ステップ1第3ブロックの対象となります。)
- ・能力の獲得は、ルーブリックによる達成度評価(後述)で行います。修了証獲得の条件は、ルーブリックによる達成度評価の全体平均・レベル2.8以上、行動力平均・レベル3.0以上、国際力平均・レベル3.0以上です。
- ・修了証Cの申請は修了証A・Bの申請と同時にを行うことができます。

「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」のルーブリック

◎ルーブリック (Rubric) とは、学習結果のパフォーマンスレベル・獲得すべき能力レベルの目安を数段階に分けて記述して、学習達成度を判断する基準を示す一覧表です。予め「評価基準」を示しておき、「何が評価されることかなのか」についての情報を、評価するものとされる者が共有するねらいもあります。

◎5つの能力と下位レベル

5つの力	内容	関心・意欲領域	知識・理解領域	思考・判断領域	技能・表現領域
発見力	地域の課題を発見する力である。	好奇心	地域理解	地域思考	情報収集力
分析力	発見した課題を論理的思考と客観的判断に基づいて分析する力である。	探求心	分析理論	論理的思考 客観的判断	情報整理力
展開力	地域課題を解決する方策を立案し、展開する力である。	創造意欲	行政制度理解 市場理解	システム思考	企画提案力
行動力	地域課題解決に向け、行動を起こし、実現に向けて努力する力である。	使命感	行動理論	他者思考	合意形成力 リスクマネジメント
国際力	地域課題解決のプロセスを国際的な現場で実行する力である。	地球愛	異文化理解	グローバル思考	異文化適応力 外国語コミュニケーション

◎国際力のルーブリック (その他の詳細は別紙)

課題解決力	説明	領域	小分類	説明	目標レベル→			
					レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
					受動行動	通常行動	能動行動	創造行動
				説明	指示された事柄について、部分的・断片的に思考し、行動する段階である	指示された事柄について、自らの思考・判断により、やるべきことをやるべき時に自ら行える段階である	誰かに指示されなくても、明確な意図・判断に基づいて主体的・能動的に行動できる段階である	独自の効果的工夫を加えた行動、独創的行動によって、状況を変化させよう、打破しようと思われ、行動できる段階である
				一般的行動例	自分が好きなこと、目の先のことには取り組める／できるだけ責任は持ちたくない	自分では、やりたくないことでも、必要と判断したことはやれる／最低限の責任が持てる	自分の意思で行動を開始し、最後まで遂行することができる／自らの行動に責任を持てる	これまでに学習した知見を基礎として、自分自身で工夫を加えて行動できる／責任ある行動ができる
国際力	国際的な現場で実行する力である。	関心・意欲	地球愛	地球上に暮らす全ての人々に関心を持ち、愛情を持って接することができる。	自分と関心や意見が一致する人に対して、関心と愛情を持って接することができる	自分と行動を共にする人に対して、肌の色や国籍を問わず、関心と愛情を持って接することができる	自分と行動を共にする人に対して、肌の色や国籍を問わず、関心と愛情を持って積極的に交流することができる	地球上に暮らす全ての人々に関心を持ち、愛情を持って接し、必要に応じて積極的な支援に関わることができる
		知識・理解	異文化理解	地球上に暮らす全ての人々の文化的差異を理解することができる。	自分が関心を持つ国の人々に対して、文化の違いを理解することができる	自分が出会う外国人や訪問国の人々に関心を持ち、その文化的差異を理解することができる	地球上に暮らすあらゆる人々に関心を持ち、世界の多様性を理解し、互いに認め合うことができる	世界の多様性を理解し、地球上に暮らすあらゆる人々の違いを認め合うことができ、異文化理解の拡大を支援できる
		思考・判断	グローバル思考	ローカルな視野とグローバルな視野をもって思考し、判断することができる。	自分が暮らす視野から思考し、判断することができる	グローバルな視野から思考し、判断するための努力ができる	ローカルな視野とグローバルな視野をもって思考し、判断することができる。	ローカルな視野とグローバルな視野をもって思考し、両者を調整する公正な判断をすることができる
		技能・表現	異文化適応力	海外出身者の文化をよく理解し、調和的な行動をとることができる。	海外出身者の文化を理解し、自分が得意とする分野において、調和的な行動をとることができる	海外出身者の文化を積極的に理解し、調和的な行動がとれるよう努力できる	海外出身者の文化を積極的に理解し、相手と相手国を問わず、調和的な行動をとることができる	海外出身者の文化を積極的に理解し、相手と相手国を問わず、調和的な行動をとることができる 出身国の異なる者同士の関係について、当事者間の調和的関係構築を支援することができる
			外国語コミュニケーション	外国語を駆使して、コミュニケーションを図ることができる。	自分が得意な分野について、外国語で交流することができる	自分が得意な分野以外についても、外国語での交流に努力できる	相手が関心を持つ分野について、外国語での交流に努力できる	外国語によるコミュニケーションを通じて、積極的に交流することができる

本プログラムへの参加方法

- ・ 大学コンソーシアム石川事務局に、本プログラムへの参加申請書を提出し登録します。申請期間は、4月・10月です。
- ・参加申請者には、UCIポータル(IDとパスワード)が与えられ、学習経過を記録するeポートフォリオが利用可能になる予定です(平成26年度後半もしくは27年度に導入)。ただし、本プログラムスタート当初はeポートフォリオがまだ使用できないので、ファイルとポートフォリオ作成方法の説明書をお渡しします。
- ・本プログラムへの参加申請を行わなくても、本プログラムの該当科目・講座・個別プログラムを履修・受講することができます。ある程度履修・受講してポイントが集まったと思われる段階で参加申請しても、**修了証申請時に同時に参加申請**をしても構いません。(特例である。)

修了証の申請・認定方法

- ・各ステップの修了証の認定を希望する者は、年2回(5月・11月)の申請期間に、必要な書類を揃えて大学コンソーシアム石川(UCI)事務局に提出してください。
- ・申請に必要な書類は、以下の通り。修了証Aの場合は①②、修了証B・Cの場合は①～④
 - ①**獲得ポイント表**(UCIが配布もしくはHP掲載する各ステップの該当科目・講座・個別プログラムの一覧(スタンダードリスト)を参考に申請者が作成。スタンダードリストにない科目・プログラムでも各ステップ・ブロックの趣旨などに一致すると思われる科目・講座・個別プログラムがあればそれも記入してください。書式はUCIのHPよりダウンロードできます。UCI事務局でも配布しています。)
 - ②**該当科目の含まれる所属高等教育機関の成績表もしくは成績証明書**(コピー可。①で申請した科目の単位が取得できていることを証明できるものならばこれら以外でも可。)
 - ③**本プログラムのルーブリックの自己採点表**(書式はUCIのHPよりダウンロードできます。UCI事務局でも配布しています。)
 - ④**本プログラムの学習経過を記述したエッセイ**(1600字以上。書式は自由。記述例はUCIのHPに掲載しています。)

なお、次の場合は、追加で提出してもらうものがあります。

- ①で単位の無い講座・個別プログラムを申請した場合
 - ➡主催者(担当者)が発行する修了証明書(書式はUCI石川事務局にあります。)
- ①でスタンダードリストにない科目・プログラム等を申請した場合
 - ➡その教育内容を証明できるシラバス・プログラム表・ノートなど
- ・修了証Aの認定は、UCIに設置された審査委員会が書類審査のみで行います。修了証B・Cの認定は下記の手順で行います。
 - ①大学コンソーシアム(UCI)事務局が申請を受けます
 - ②UCIより当該学生の指導教員もしくはステップ2・ステップ3該当科目・講座・個別プログラムの担当教員に当該学生のルーブリックによる自己評価の妥当性を確認します
 - ③それを受けて、審査委員会が書類審査をします。
 - ④書類審査に合格した学生に対しては、審査委員会が面接を行い、ルーブリックによる自己評価の妥当性を再確認します。
 - ⑤以上によって、獲得レベルが基準以上であることが確認できれば、UCIから修了証が交付されます。
- ・修了証の発行時期は、7月・12月です。
- ・平成25年度以前入学の学生に関しては、平成23～25年度に開講された該当科目・講座・個別プログラムを記載して修了証の申請を行うことができます。